

● **きっかけは創業者の介護経験から**

デザイン会社を経営していた当社の創業者が、自身の親の介護経験の中で、「高齢者に向けた良質なレクリエーション素材」がないと感じ、Web上でレクリエーション素材を無償で提供し始めた（「介護レク広場」）。広告を行うことなく、口コミだけで7万人以上の会員登録がある。

● **「レクリエーションについて学びたい」という介護現場のニーズに答えて**

「介護レク広場」でレクリエーションに関わりを持つ中で、会員である介護従事者にアンケートをとってみると、半数以上の人々が「レクリエーションについてコツを知りたい、学びたい」と考えていることがわかった。実際、デイサービスや入所施設といった介護現場ではレクリエーションにかなりの時間を割いているにも関わらず、介護初任者研修等の教育の中では、体系立ててレクリエーションの教育は行われていない。専門的・体系的な教育を

受けていない中で、「レク当番」が回ってきた人が対応している、という現状を変えたいと考えた。

● **目的は高齢者の「生きる喜び」や「楽しみ」を見出す支援をし、介護現場に笑顔をもたらすこと**

レクリエーションを有効に実施すれば「喜び」や「楽しみ」、「笑顔」がうまれる。レクリエーションの充実を通じて、介護のポジティブな面を社会にもっと知ってほしい。いきなり「身体介助」となればハードルは高いが、「レクリエーション」からであれば、介護現場に足を踏み入れるハードルは低いはずである。介護レクリエーションについて資格化し、更に働く場とマッチングさせることで、より多くの人々が介護現場に関わるきっかけになればと考えている。

【レクリエーション介護士】

● **事業所の声を聞き、専門家の意見を基に、介護レクリエーションに関する知識・ノウハウを体系化**

経済産業省の「多様な『人活』支援サービス創出事業」の採択を受け、200以上の介護施設を訪問し、レクリエーションについて困っていることをヒアリングした。更に専門医やリハビリ職などの専門的知見も踏まえて資格化したのがレクリエーション介護士である。

現在2級のみだが、2016年4月より介護現場でレクリエーションを提供できるリーダー的な人材を育成する1級の提供を開始する。

● **通信・通学、団体等多様な受講手段**

通信や通学、施設単位での団体受講等、様々な方法で受講ができ、受講希望者のニーズにあった受講形態が選べるのが特徴。そのために、複数の事業者と提携して、通信教育のほか、各地で通学講座を展開している。

● **イベントも実施し、レクリエーション介護士の認知度拡大を図る**

情報発信としてレクリエーション介護士のセミナー等を定期的に開催している。シンポジウム・講演、展示等を行い、レクリエーションの可能性やレクリエーション介護士の認知度拡大を図っている。

【事業採算性の確保】

● **サイト、人材育成、求人サービスで三事業で採算確保を狙う**

素材サイトの広告収入、人材育成事業に加えて、求人サービスにも着手。今後は求人サービスの拡大により、事業継続のための採算を確保していきたい。



● **地域コミュニティ創造新事業「レク・カフェ」の展開**

平成27年11月より、レクに関する情報発信の場として、大阪の天神橋三丁目商店街の店舗を活用し、「レク・カフェ」の実証店舗を展開し始めた。商店街の店舗を利用し、高齢者が楽しめるレクリエーションプログラムとコーヒーを提供するカフェを運営。介護レクエーションを学んだボランティア人材の育成と、高齢者の憩いの場を各地に創り出すことを目指している。

スポンサー企業からの広告収入と高齢者からの利用料を受けつつ、商店街の空き店舗を利用することで低コストで運営する。実証結果も受けて、各地に拡大していきたい。

● **離職防止効果の検証など、介護現場のポジティブな面を発信していきたい**

介護レクリエーションにより介護のポジティブな面を打ち出したり、介護従事者のやりがい作りにつなげていきたい。レクリエーションの充実化により、介護従事者のモチベーションが向上し、離職防止につながるのではないかと考えている。その効果も定量的に検証していきたい。

事業者からの、ご利用される方やケアマネージャー・自治体の方へのメッセージ

代表取締役 伊藤 一彦

● **「人を支える人」を支える**

私たちの考えるレクリエーションは、単なる遊びではなく、「日々の生活の中に、生きる喜びと楽しみを見出していく様々な活動」のことであり、介護現場における高齢者向けのレクリエーションを「介護レクリエーション」と表現しています。

この「介護レクリエーション」という分野に着目し、介護に携わる方々の支えとなるサービスを提供していくことで、高齢者が心豊かに生活できる社会の実現を目指しています。私たちは、「介護レクリエーション」を通じて、高齢者と介護に携わる方々の双方に、一つでも多くの笑顔が生まれるように努力し続けていきます。

カフェ、カルチャー教室、運動教室などを会員制で提供

地域に開かれたコミュニティ拠点 「ホームクレール」

東急不動産株式会社

ポイント

【ご利用者からみて】

- 地域に開かれたコミュニティ拠点を開発し、高齢者の相談を気軽に受けられ、解決することができる場を提供
 - ・ コミュニティカフェ、イベントフロア、フィットネスフロアを有するサービス提供拠点を開発
 - ・ コミュニティカフェには、生活全般に関するちょっとした疑問や将来の不安などを気軽に相談できる生活コンシェルジュが常駐し、日々の様々な相談に対応
- 食事・カルチャースクール等の「楽しみ」サービスや、緊急対応・急病サポートといった「安心」サービスなどを会員制サービスとして提供

【事業として】

- 多くの開発実績をもつシニアレジデンスの入居者向けサービスを切り出し、地域に開かれた独立型サービス拠点として展開
- 本事業から顧客獲得やオペレーション施策等を検証し、今後の新しい“地域に開かれた高齢者住宅”開発に活かす

商品・サービス概要

「今だからこそその楽しみと交流を」
「まるで、お子様が近くにいるような安心を」

【商品・サービス】

- 会員制サービスは“たのしみクレール” “あんしんクレール” の二種類
 - ・ 会員制サービスには、家外サービスである“たのしみクレール”と、家中サービスである“あんしんクレール”があり、基本的に2つのサービスを組み合わせた3種類のサービスプランを提供
 - “たのしみクレール”
 - 「より充実した暮らしを送りたい」「ずっと楽しめるよう健康でいたい」といった楽しみと交流を提供
 - ・ カフェの利用。プランによって食事の割引が適用
 - フィットネスクラスやカルチャークラスの利用
 - “あんしんクレール”
 - 「一人暮らしで何かあった時に心配」「子供や周りの人に迷惑をかけたくない」に備える安心感を提供
 - ・ 健康アドバイスサービス。看護師などの専門家が個別相談に対応
 - 緊急対応サービス。有事に警備員が駆け付ける
 - 急病入院時サポート。急病時や入退院時の付添いなど
 - 自宅での家事支援サービス

【価格】

- 価格はサービスの組合せによる3種類のプランに対応
 - ・ お気軽プラン：980円/月。月1回の食事が付いたたのしみクレール中心のプラン
 - ・ 安心プラン：2,980円/月。いざという時に備えるためのあんしんクレールがセットになったプラン
 - ・ 通い放題プラン：7,980円。ただし、70才以上の方はシニア割引で5,980円/月。好みに合わせてフィットネス、カルチャークラスが好きなだけ利用できる。

シニア住宅のような
安心と充実をご自宅に。



楽しみをくれる、安心をくれる。

ホームクレール用賀

東急不動産のライフサポート

主な利用者とQOL向上のポイント

どこに相談してよいか分からない健常なシニアが、気軽に相談し、解決することによって、自宅にいながら自分らしく生き生きと人生を歩む

- 利用者のプロフィール：会員の8割が女性。年齢は50代、60代、70代以上で1/3ずつの構成比。家族の介護をしている会員も多く、介護疲れを癒せるようコンシェルジュに相談することも多い。
- QOL改善・向上のポイント（対応するニーズ）
 - 介護が必要な状況になれば自治体やケアマネに相談できるものの、健常な高齢者は生活に困りごとがあった場合、どこに相談してよいか分からない。そこで、気軽に相談ができ解決することができることをコンセプトとし、自宅にいながら自分らしく生き生きと暮らすことを支援している。

シニア向け住宅事業の居住者向けサービスを切り出し、地域に開かれた独立型サービス拠点として開発

当社は、シニア向け住宅事業「グランクレール」を10年以上展開しており、本サービスはシニア向け住宅事業の居住者向けサービスを切り出し、地域に開かれた独立型サービス拠点として開発したものです。

シニア向け住宅事業において、今後は地域の住民にも開かれた住宅開発を予定しており、新たな居住者向けサービス開発のためのパイロット事業として2015年7月に開設した。

生活コンシェルジュの常時配置や充実したフィットネスやイベントの開催 地域に開かれたサービス拠点として地域連携を推進

●カフェに常駐する生活コンシェルジュが、まるで家族のように日々の様々な相談に対応

- ・相談を気軽に受けられ解決することがサービスコンセプトのため、対応窓口となる生活コンシェルジュを複数名常時配置している。
- ・生活コンシェルジュの責任者はシニアレジデンスのフロント経験者であり、他は会員の娘世代にあたる40～50歳代の女性を中心に地域採用。積極的にコミュニケーションを取れる人を採用している
- ・生活コンシェルジュは、話し方、認知症対応といった研修や、看護師による勉強会を受講している。

●充実したフィットネスやイベント内容

- ☑フィットネスは、東急不動産グループであるスポーツオアシスと連携し、インストラクター派遣による健康プログラムや独自開発機材などが提供されており、好評を得ている。
- ☑カルチャークラスは、ニーズの高い料理教室やクラフト系講座を実施している。イベントの頻度は週4日程度であり、朝から夕刻まで様々な講座を開催しており充実している。

●地域に開かれたサービス拠点として地域連携を推進

- ・毎週木曜日に“わがマチ用賀の保健室”といった健康相談会を地域住民に対して無料で開催。地域の医療法人と連携し専門知識を有した看護師が対応している。
- ☑当施設を活用したいという地域住民からの要望に応じている。社協の講演会会場として貸与したり、認知症家族向け交流の場としてのカフェ利用、地元のシニアクラブの活動の場として利用されている。

<「ホームクレール用賀」の拠点概要>



今後“地域に開かれた高齢者住宅”を開発していく際に、機能やノウハウを転用していく予定

●今後の“地域に開かれた高齢者住宅”を開発していく際に、機能やノウハウを転用

- ☑今後開発する“地域に開かれた高齢者住宅”における居住者向けサービスとして、ホームクレール事業で培った必要機能やノウハウを活かしていく予定
- ・2017年に開業予定の多世代型大規模集合住宅では、コミュニティサロンの開設や、ホームクレールの主要サービスを提供する予定

●本事業はパイロットケースであり、同様の拠点を展開する予定は今のところない

事業者からの、ご利用される方やケアマネージャー・自治体の方へのメッセージ

ヘルスケア事業部課長 沼滝ゆりか

昨年7月の開業以来、「ここに通うようになって体調が改善した」「地域に知り合いができた」「近くに、話ができ、通える場所があって嬉しい」などの、利用者のお声を、下は40代から上は90代の方まで、数多く頂いています。あらためて、食事を楽しむことや、体を動かすこと、他者との交流が、健康寿命の延伸にいかにか大切かを実感する毎日です。みなさまのお越しをお待ちしています。

ケアリハをより身近なものへ

ケアリハプロジェクト

一般社団法人 変わる！介護

ポイント

【利用者からみて】

1. 「ケアリハ検定」では、介護職や家族がケアリハについて学ぶことができる
2. 施設入居者などでもサービスを利用可能

【事業として】

1. 専門職(理学療法士)の専門的なスキル・ノウハウの一部を習得しやすいようにプログラム化
2. 検定による人材育成、自費サービスでの派遣による相乗効果も狙う

- 「ケアリハで人生が豊かになる社会」を目指し、ケアリハの概念・知識の普及を図る
- 「ケアリハ検定」は3級～1級、専門的な「インストラクター」「セラピスト」と入門者からプロの知識までが学べるプログラム
- 「ケアリハ検定」の受講者拡大を進めつつ、施設・事業所の認定など、「ケアリハ」の普及をさらに進めていく

商品・サービス概要

ケアリハ民間資格の教育・認定と自費の宅リハサービスを提供

【商品・サービス】

● ケアリハ検定

誰もが日常のケアの中で安全かつ効果的なケアリハを実施できるように認定資格と教育カリキュラムを設けて人材育成を実施。介護スタッフやご家族など、リハビリの知識がない方でも、ケアリハの考え方や解剖学・運動学の知識を学ぶことができる。

● 宅リハ

介護付き有料老人ホーム、特別養護老人ホームの入居者の方などに対して自費でのサービスを提供。

● もしリハ

「もしも、介護従事者がリハビリを学んだら」というコンセプトのもと、ケアリハの概念を知るための入門編の有償セミナーを開催。

【価格例】(平成28年1月時点)

● 宅リハ料金

個別ケアリハ: 1,400円(税込)/10分(1回あたり20分～)
グループケアリハ: 1回5～10人程度、1人あたり2,000円/45分



主な利用者とQOL向上のポイント

ケアリハ概念・知識の普及によって、ご高齢の方のADL・QOLを向上

● 利用者のプロフィール

- ・ケアリハ検定受講者: 介護職、ケアマネの他、飲食業など従来介護に関わりのない方も受講されている。
- ・宅リハ利用者: 介護付き有料老人ホームや特養に入居されている方などに利用されている。

● QOL改善・向上のポイント(対応するニーズ)

- ・ケアリハ検定・もしリハ: 介護職やご家族なども、ケアリハの考え方や知識を学ぶことで、日常の中でそれを実践することができる。そのことが結果として、自宅や介護施設で暮らす方のADL・QOL向上につながると思う。
- ・宅リハ: ケアリハサービスを提供することで、ADL・QOL向上につながっている。ニーズは非常に強く、人によっては「毎日でも来てほしい」という方もいる。